

山梨 x 妖怪

日本の夏に欠かせない風物詩の一つといえば「怪談」や「幽霊話」などの“奇妙な話”です。日本では、古くから「霊」や「妖怪」などにまつわる話が民間伝承や歴史書などを通じて語り継がれてきました。

日本語では「妖怪（ようかい）」は怪物、「幽霊（ゆうれい）」は霊魂と訳されますが、この二つには違いがあるのでしょうか？

その答えは「はい、あります」。

日本人の考え方によると「幽霊」は亡くなった人の魂、もしくは成仏できずにこの世にとどまっている霊を指します。一方で「妖怪」は人間の理解を超えた不思議で異常な現象を表し、科学では説明できない神秘的な力を持っている存在です。

「妖怪」は「綾かし（あやかし）」や「物の怪（もののけ）」とも呼ばれ、多くは人間ではない動物や物から変化したものとされ、特定の場所に現れたり、突如として人々の前に姿を現して脅かす存在だと考えられています。



ご存知でしょうか？日本の各都道府県にはそれぞれにまつわる妖怪の物語が存在しています。もちろん、山梨県もその例外ではありません。

今回、山梨県に伝わる妖怪に関する「場所」や「物語」の中から、いくつか興味深いものをご紹介します。山梨を訪れる機会がありましたら、ぜひそのような場所にも足を運んでみてはいかがでしょうか。

最初にご紹介するのは「夔（キ）」という妖怪です。

山梨県にある「山梨岡神社」ではこの夔が雷や悪霊を追い払う神様として祀られています。山梨岡神社は山梨県笛吹市に位置し、石和温泉駅から徒歩約10分の場所にあります。

神社の伝説によると約2,000年前に創建されたとされており、「山梨県」という地名の由来になったとも言われています。



こちらの神社では毎年4月にお祭りが執り行われております。その際に奉納される神聖な神楽（かぐら）はかつて武田信玄公が勝利を祈願して奉納されたことに由来すると伝えられております。

また、7年に一度の特別な機会においては、このお祭りで「夔（キ）」の像が公開されます。「夔」という名前はあまり馴染みがないかもしれませんが、この像は日本国内で唯一、山梨岡神社にのみ保管されている非常に貴重なものです。私も2023年に山梨岡神社を訪れた際、幸運にもこの「夔」の像を拝見することができ、大変貴重な経験となりました。山梨にお越しの際に、もしこの像の公開時期と重なりましたら、ぜひこの貴重な機会をお見逃しなきようおすすめします。



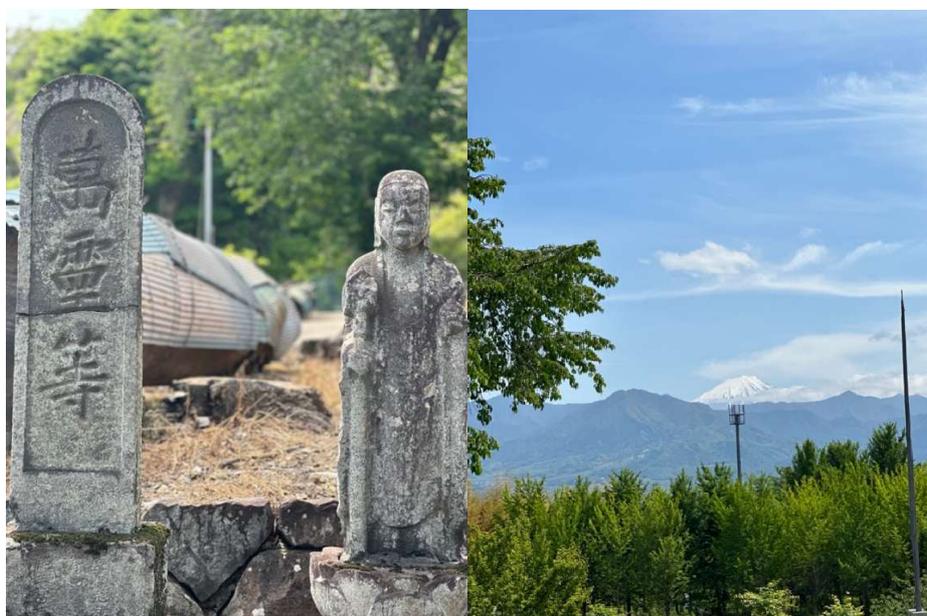
次にご紹介するのは妖怪「蟹坊主（かにぼうず）」です。

蟹坊主はカニの姿をした妖怪で、その伝説は日本各地の神社で広く伝えられています。昔々、ある夜のこと、山梨県にある「長源寺（ちょうげんじ）」というお寺に滞在していたお坊様のもとに、一匹の妖怪が現れ、謎かけをしました。「八本の足があり、目が空を向いているものは何か？」と。お坊様は「それはカニです」と答え、持っていた「独鈷杵（とっこしよ）」で妖怪を打つと、妖怪は逃げ去りました。翌日、お坊様と村人たちが血の跡をたどって調べたところ、巨大なカニが死んでおり、その甲羅が割れているのを発見しました。



お寺の境内には、あの巨大なカニが残したと言われる大きな岩が二つあります。

また、境内からは富士山を望むことができ、お寺の中にも多くの興味深い特徴や独特の雰囲気を感じられます。



次にご紹介するのは妖怪「予言の鳥（よげんのとり）」です。

もし日本の熊本県の海で1846年5月に出現し、疫病を鎮めると伝えられる妖怪「アマビエ」をご存じでしたら、山梨県にもそれに似た妖怪がいます。それが「予言の鳥」です。

予言の鳥は二つの頭を持つ鳥で、江戸時代には突然人々の前に現れ、感染症の流行を予言したと言われていました。

この不思議な鳥は「自分を信じ続ければ、困難を乗り越えられる」と人々に語りかけて救ったと伝えられています。

山梨では、「差出磯大獄山神社（さしでのいそだいたけさんじんじゃ）」で、予言の鳥とアマビエの御朱印をいただくことができます。訪れた記念として、ぜひ購入してみたいはいかがでしょうか。



最後にご紹介するのは「河童娘（かっぱむすめ）」です。

日本の民話でよく知られる河童の話はご存じかもしれませんが、山梨県早川町には少し違った不思議な伝説があります。それが「河童娘」の物語です。

この話では、人間の姿をした若い女性が登場しますが、実は河童だと言われています。ある夫婦が、畑作業をしていたときに、見かけたことのない女性を目にしました。気になったのでお茶をうけのいもを渡すと、美味しそうに食べたそうです。以後、数日にわたってやってくるので不思議に感じた夫婦が「河童が化けているのではないか」と思い始め、夫婦は伝統的な魔除けの習慣に従い、河童が嫌うと言われるひょうたんの汁をお茶に混ぜました。そのお茶を飲んだ女性は顔色を変え、慌てて川へと逃げ出しました。そして本来の姿である河童の姿を現したのです。

夫婦としては、別にいたずらをしたわけでもないのに悪いことをしたと良心をとがめて、長い間気が晴れなかったという言い伝えがあるようです。



また、妖怪に関する絵画や関連グッズにご興味がある方は、山梨県上野原市にある「大蛇堂」をぜひ訪れてみてください。

オンラインでも、こちらのウェブサイト (<https://orochoi.theshop.jp/>) から購入が可能です。

このような民間伝承は日本全体の民俗文化だけでなく、各都道府県の特徴の一つとして今も大切に受け継がれています。

ですので、山梨県に伝わる妖怪の物語を通して、ぜひ山梨の魅力をさらに深く知ることをおすすめします。